

令和3年度学校評価報告書

令和4年3月22日

北海道教育委員会教育長 様

北海道湧別高等学校長 印

次のとおり令和3年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

|                                                      |
|------------------------------------------------------|
| 1 自ら学ぶ意欲と態度を養い、基礎・基本を確実に習得して自己実現を図るにふさわしい確かな学力を保証する。 |
| 2 規範遵守の態度、生命尊重の精神、多様な他者を思いやる優しく豊かな心を涵養する。            |
| 3 健やかな心身の保持増進を促し、主体的・積極的に地域とグローバル社会に貢献する態度を育成する。     |

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

| 評価項目                                                                     | 自己評価の結果                                                                                 | 学校関係者評価の結果                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 学習指導<br>○主体的な学びの工夫と改善<br>○確かな学力の定着<br>○家庭学習の定着<br>○探究的な学習活動の推進           | 達成している<br>基礎基本の定着に向け、個に応じた指導・支援だけでなく生徒が主体的に学ぶことができるように取り組むことができた。                       | 達成されている<br>(学習への働きかけは十分できている。家庭での過ごし方で家庭学習の習慣[自ら課題を見つけ取り組む力]が身に付けられるよう働きかける)          |
| 改善方策                                                                     | ICTを活用した実践に向けた準備と自らが取り組むことのできる動機づけを行い、家庭学習の定着による学ぶ意欲や楽しさを理解させる。                         |                                                                                       |
| 生徒指導<br>○規範意識の育成<br>○教育相談とサポート体制の充実<br>○いじめや不登校等の早期発見と早期対応<br>○生徒会活動の充実  | 達成している<br>特別支援委員会による会議資料、学年や授業等の情報共有は十分に行われた。いじめ対策として面談週間などのきめ細やかな生徒観察と迅速な対応ができた。       | 十分達成されている<br>(不登校が少ない。また1～3年生の関係が良好。地域の人々から見られていることの抑止力もあるが生徒は自ら考えて行動[心の成長を感じる]できている) |
| 改善方策                                                                     | 教職員の協働体制を整え、規範意識をさらに高める。生徒会活動の負担を減らすために計画的な企画運営が進められるよう組織コントロールを行い、自主性や自律性を伸ばす指導、支援を行う。 |                                                                                       |
| 進路指導<br>○系統的なキャリア教育における実践力の向上<br>○意欲的に進路実現を目指す生徒の育成<br>○保護者、関係機関等との緊密な連携 | 達成している<br>保護者説明会などによる情報提供が十分になされた。進路実現のための取組を後押しするとともに自主性を促す必要がある。                      | 十分達成されている<br>(相談できる環境があり、生徒たちが観察したり、自ら調べたりするなどの自主性は育っている。また、地元に残りたいという生徒も増えている。)      |
| 改善方策                                                                     | 現状にあわせたSTCプログラムの精選を行い、より効果的な活動にする。                                                      |                                                                                       |
| 健康・安全指導<br>○体力の向上と心身の健康の保持<br>○健康管理の意識の高揚<br>○学校安全教育の充実<br>○自己肯定感の向上     | 十分達成している<br>さまざまな講演会を実施し、心身の健康保持に繋げることができた。SNSトラブル未然防止観点から早い段階での講演は効果的であった。             | 十分達成されている<br>(防災訓練など実践的に行うことの重要性を考えるとよい体験ができている)                                      |
| 改善方策                                                                     | SNSトラブルについては継続的な指導が必要なため啓蒙活動等を行う。教育相談の充実を図り心の問題への迅速な対応に努める。                             |                                                                                       |

| 評 価 項 目                                                                                                                                      | 自己評価の結果                                                                                                          | 学校関係者評価の結果                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| <b>信頼される学校づくり</b><br>○さらなる情報発信<br>○外部評価の積極的活用<br>○ボランティア活動及び学習サポート事業等の実施<br>○保護者や地域との学校づくりの推進<br>○法令遵守と服務規律保持、説明責任の意識の徹底<br>○私費会計の適切な会計処理の推進 | <b>十分達成している</b><br>教職員としての自覚を持ち、適切な対応に努めた。<br>地域との協働による学校内外問わず実践することができた。また、その発信をホームページやインスタグラムなど行事や授業の様子を発信できた。 | <b>十分達成されている</b><br>(PRがうまくなっている。発信については特に進路状況などに工夫の余地ある)    |
| 改善方策                                                                                                                                         | 情報発信はできていたが保護者を含め地域にも、高校の取組に関心を持ってもらえるよう発信をする。また引き続き、服務規律の保持のための職場研修等の充実を図る。                                     |                                                              |
| <b>組織運営</b><br>○関連組織との緊密な接続<br>○学校経営方針等の理解及び各分掌等の連携、情報の共有                                                                                    | <b>達成されている</b><br>各分掌の業務を見直し、現状にあわせた取組を行う必要がある。また、分掌間の共有を深める。                                                    | <b>達成されている</b><br>(中高一貫教育としての充実した取り組み)                       |
| 改善方策                                                                                                                                         | 中高一貫(S T C等のつながりを再構築)についてリニューアルする。分掌間の連携や分掌内での業務に引継ぎがスムーズにするために反省による改善点を修正したものを引き継ぐなどの取組を行う。                     |                                                              |
| <b>教職員の資質向上</b><br>○教科指導力等と資質の向上<br>○職員のワークライフバランスの涵養                                                                                        | <b>やや達成していない</b><br>校内研修などの情報共有により現在の課題についての相互意識を深めることはできた。業務の偏りや精選など課題への対応が必要である。                               | <b>やや達成されていない</b><br>(より先生方が気持ちよく働けるよう環境の整備。校内研修による課題の共有を図る) |
| 改善方策                                                                                                                                         | 授業改善(ICTの活用等)による研修会の充実を図る。各々が時間外勤務の縮減を意識し、業務改善(スリム化)や計画的な業務実現を図り、ワークライフバランスに繋げる。                                 |                                                              |
| 公 表 方 法                                                                                                                                      | 1 ホームページでの公開<br>2 P T A総会での説明<br>3 保護者への資料の配付                                                                    |                                                              |